

昭和52年10月4日発行
神奈川県スキー連盟
 横浜市神奈川区鶴屋町2-16-6
 電話 045 (314) 1385
 発行者：笹 貫 敏 男
 編集者：佐 藤 嘉 彦

SAKだより

次回からSAKマ
 ークが入ります。

創刊号

昭和52年度 評議委員会 終る

予算・行事・規約改訂 万場一致で承認

事務所取得も可決！

昭和五十二年度の評議委員会は、去る七月三十一日(日)午前十時から三つ沢の県立スポーツ会館に、評議員、役員等、六十六名が参集して行われた。園山副会長の開会のことばに続いて、司会の片岡副理事長が評議員会の成立を確認、ついで議長の選出が行われ、横浜市協の井駒氏が選ばれて議長に就任した。この後、河野会長からのメッセージを三塚副会長が代読、議事日程の確認の後、昭和五十一年度関係の報告に入った。笹貫理事長が一般経過報告を行い、ついで総務、普及、強化の三部関係の細部を細井、高橋(貞)、高橋(伸)の三部長ならびに関係理事が報告した。決算報告については鷹野理事、監査報告については洲崎理事が報告し、活発な質疑応答の後、昭和五十一年度関係の諸報告は、万場一致で承認された。(十二時)ここで一時間休憩し、県連用意の駅弁でのなごやかな食事風景が見られた。午後一時に会議を再開し、笹貫理事長が昭和五十二年度の執行方針を提案、主として事務所問題を中心に質問意見が出たが、採決の結果、賛成四十三、反対二、保留一の多数で原案どおり可決決定した。行事計画、予算、規約改正については万場一致で、原案どおり決定した。以上で午後三時五十分、予定の議事を終了、井駒議長が降壇、最後に松浦副会長の閉会のことばをもって、昭和五十二年度評議員会は、成功裏にその幕をとした。

〔昭和五十二年度計画〕

- 一、執行方針
 執行部は、前年度に引き続き、次の三つを執行の基本とする。
 (1) 明るい県連作り
 (2) 会員クラブの立場に立った執行
 (3) 将来の県連のためになる執行
- 二、重点事項
 (1) 事務所・事務局員、事務制度
 事務所を横浜駅西口(徒歩二分)、(株)東部内に設置し、専任事務局長を置く。また、これを前提とした事務制度を確立していき、県連、協会クラブ間の金銭の授受については、銀行振込方式を加えたい。
 (2) 財源対策活動の推進
 将来の財政状況を勘案し、財源対策事業を研究実施したい。
 (3) 協会、クラブ、会員とのコミュニケーション
 ①協会とのコミュニケーション
 県連執行のより一層の充実をめざして、総務、普及、強化等、各別に、協会との協議の場を設けたい。
 ②クラブとのコミュニケーション
 従来どおり一度の会合を設置するが、内容については
- 事務連絡にとどまらず、執行全般についての意見交換の場としたい。
 ③会員とのコミュニケーション
 SAKだよりを発行したい。また、事務所を活用した会員との交流を検討したい。
 (4) 四十周年記念行事検討委員会の発足
 昭和五十四年は、当県連創立四十周年にあたる。したがって、標記委員会を発足させ、当県連にふさわしい記念行事の検討に着手したい。
 (5) 普及部関係
 指導員研修会の理論研修を県内で実行、実技研修を二日間とする。指導員制度の見直しに着手したい。
 (6) 強化部関係
 コーチ会の協力を得て、選手強化の基本方針を策定してみたい。
 三、行事計画
 別記のとおりです。申込みのないよう、締切日には十分ご注意下さい。
 四、予 算
 (1) 一般会計
 収入の部 一九、八七九、〇四四円
 繰越金 四、二四二、五四四円

〔昭和五十二年度報告要旨〕

- 一、一般経過報告
 (1) この一年間、明るい県連作り、会員クラブの立場に立った執行、将来の県連のためになる執行をモットーに努力した。協会、クラブ、会員との協力を感謝する。
 (2) 今年度の執行部には新人が多く、特に業務引継ぎ後の執行が多忙をきたわった。
 (3) 新役員は執行に新風を吹き込み、次年度の活躍と執行内容の充実が期待される。
 (4) 予定行事は計画どおり実行した。しかし現在の県連には解決しなければならぬ問題点もあり、その主なものは、①執行の質の向上と財源、②執行部内ならびに協会クラブとのコミュニケーション、③ルールの整備とこれを守ること等である。
 (5) 専用事務所と専任事務局長は執行の質をあげるうえでは必要であり、このため事務所問題小委員会を設置して検討の結果、当面、事務所を借用する方向とした。
 (6) 普及部関係では、指導員研修会の開催時期と理論実技分離の検討が重要である。SAKデモ選では五番三採用方式を始め採用した。SAJデモ選に十位八賞を果たした。
 (7) 強化部関係では、常任コーチ会の発足と、これによる一貫性のある選手強化の向上に努力した。団体成績の向上、その他大会運営上の改善をはかった事を報告する。
 (8) 鈴木総務部長と佐藤良強化部長が理事を辞任し、後任に細井総務部長(横浜同好会)と高橋伸次強化部長(横浜ユベル)が会長の指名を受け理事会の決定により就任した。
 (9) SAJ理事問題は未解決であるが、順次正常化の方向に進んでいる。SAJ関係については、組織的対応の必要を感じる。
 (10) 前評議員会決定の重点事項については、次のとおり。
- ① 安全スキーの強調について
 傷害対策委員会を中心に、理論、雪上行事等機会をとらえて、安全なスキーの励行を周知した。今後は、無雪県の安全対策活動のあり方を検討してみたい。
 ② SAJ会員登録の増加について
 各協会クラブのご尽力により、前年比四四六名増の四一九九名(全国第三位)の登録会員を得た。
 ③ 規約規程の改正について
 前年度に引き続き規約規程委員会を開催し、別案のとおりまとまった。
 ④ 専門委員会制度について
 常任コーチ会強化部、プロック委員会普及部を軸に、各協会の専門役員を集めた専門委員会を発足させたい。
 ⑤ プレインズントレーニングの強化について
 宿泊トレーニングについては実施したが、今後は前記の強化対策の一貫として検討していきたい。
 ⑥ 県連推奨アレンデの設定について
 戸隠村当局と交渉し、基本的事項について協定書を作成印刷した。具体的にはシーズン迄に取組みたい。
- 二、総務部関係報告
 ① 組織状況
 座間スキー協会が新たに加盟し、十四協会、一七二クラブ(未登録を含む)、四一九九名の組織となった。なお、指導員一〇四名、準指導員五七六名、競技技術指導員四名、競技運営指導員九名、公認旗関門員二名、公認パトロール一九名の有資格者登録を得た。
 三、普及部関係報告 省略
 四、強化部関係報告 省略
 五、決算報告
 収支総額 一五〇一万円
 六、物品関係特別会計
 今年度販売総額 一四五万円
 七、財産目録 省略
 八、監査報告 省略

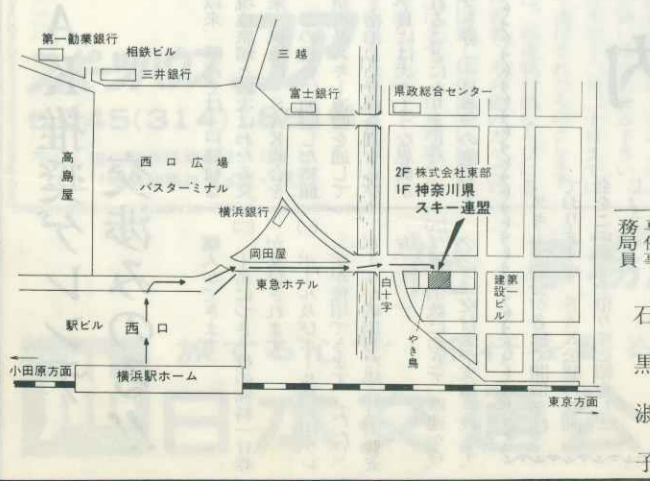
待望のSAK事務所設置 去る九月二十二日(木) 開所式挙行される



今後は諸会議も当事務所で出来る
 とあって、現執行部一同県下四千
 数百名の会員の為にと心も新たに
 一層張りきった面持ちで、式の進
 行に当たっていた。
 スポーツ会館よりの引っ越しも
 すでに終り、運営できる状態にな
 った。新事務所での理事会も何度
 か行われ、執行部、同、会員の良
 いコミュニケーションの場になる
 様にと努力している。在局日も週
 二回、火曜日と木曜日の午後一時
 から七時半迄となり、これには専
 任事務局長の石黒淑子氏があたっ
 ている。今後は新事務所を気軽に
 利用していただき、不便のないよ
 うにして行きたいものと願ってい
 る。

神奈川県スキー連盟
 郵便番号 二二二一
 所在地 横浜市神奈川区鶴屋町
 電話番 〇四五 三三四 一三三五番
 在局日 毎週 火曜日・木曜日
 午後一時七時三〇分
 専任事務局長 石黒 淑子

このたび横浜駅西口近くに、神奈川県スキー連盟の事務所が設置された。横浜駅から歩いて二、三分の所。立地条件に恵まれ、十坪ほどのさやかな事務所ではあるが、吾々会員が永年にわたり待望していただけにその喜びはひとしおである。去る九月二十二日、夕刻より各協会の会長、理事長、名誉会長、顧問等の方々をはじめ、SAK理事全員が集まるなかで、SAK理事全員が揃うなかで、細井総務部長司会のもとに園山副会長の挨拶三塚副会長の会長メッセージ代読があり、松浦副会長の乾杯が進められて行った。当日出席した方々はすでにこのSAKの中にあつて執行の経験者ばかりであり、今迄の仮住いの不便さを十分知っている方々ばかりである。



本場のアルプスを滑ろう

SAK第一回ヨーロッパスキーツアーのご案内

札幌市が再びオリンピックを誘致することを決定したり、山形県蔵王では二年後に世界スキー指導者会議が開かれるなど、日本のスキー界も国際的行事が増えて来ましたが、当県連でも国際的に、本場アルプスのスキー場に皆様をご案内することにいたしました。題して「第一回SAKヨーロッパスキーツアー」

県連で行うかぎり、安く、安全の比較的安定している三月に時期を、楽しんで、中味の豊富なものを、各旅行社と交渉の末、交通社とのタイアップにより、実施することになりました。

まず、行程の概要からご説明いたします。

ヨーロッパスキーは、滞在型と移動型の二種類がありますが、始めてのツアーであり、著名なスキー場が沢山ありますので、今回は移動型を用い、マッターホンのあるスイスのツェルマットと、モンブランのフランスはラブラニユを訪ねることとし、更にせっかくなので、花の都パリへも足をのばすこととしました。

会員の大半は職業を持たれておられる方々で、なかなか休日も乏しいことから、最も仕事を休まなくて良い、そして、現地の天候

の比較的稳定している三月に時期を、楽しんで、中味の豊富なものを、各旅行社と交渉の末、交通社とのタイアップにより、実施することになりました。

発行にあたって

神奈川県スキー連盟会長 河野洋平

現代は、量から質への転換の時代といわれています。経済成長はもう既に安定成長を目指す時代と



なりましたし、日常生活の中でも、例えば「健康に良い」というような言葉が何よりも説得力を持っています。

日本のスキー人口は数百万人という時代になりましたが、それもこうした世の中の動きと無縁ではないでしょう。今から十数年前までは、電車の中でスキーの板を持つておられるのが珍しかったにもかかわらず、今や若い人（精神的にも肉体的にも）でスキーをし

たことがない人を探すとすれば、難な程の、いわば繁栄ぶりです。この間わずか10年でしたが、神奈川県スキー連盟は、まもなく四十年の歴史を迎えようとしています。



この度は、新たに会員相互の連絡をより円滑にする場所として連盟事務所を開設し、機関紙「SAKだより」を創刊する運びとなりましたが、これらを十分に活用すると同時に、制度面での整備、充実を期して努力したいと考えております。微力ではございますが、今後共、引きつづきご指導を賜りますようお願い申し上げます。

役員の方々は、大変な仕事だと存じますが、是非共、つづけて発行され、できることなら、各市協会報をも包含して、県連だよりを読めば、市のこと、市のことすべてがわかる様なものに発展することを切望します。

又、新設の事務所もよろこびの一つです。事務所から離れた協会にもその恩恵が届く様、大いに活用して、有意義なものに育て上げていただくことを願ってやみません。

また、所属協会としては、いよいよ自信を得て、クラブ、会員のために、より一層の努力をしようとするものと、ますます発展を共に期待いたします。

今年度、事務所得得に伴い、理事会は第四回、部長会は第二回、各分科会は毎月実施いたします。ご意見等がありましたら、ドシドシお持ち寄り下さい。場所はもちろんです。SAKはじめ、先輩協会のご指導、ご援助を切望する次第です。

七月十六日（日）それぞれ県立スポーツ会館で、協会・クラブ代表者会議は十月四日（火）四月十一日（火）共に県政総合センターで、協会事務担当者会議、各種登録（手続含む）は十月二十七日（木）県連事務所にて実施する予定です。

観光、ループル博物館、モンマルトの丘などを見学、夜はパリ泊。二十五日午前中自由行動、午後パリを発し、二十六日（日）十四時羽田帰着の予定です。（コース詳細多少変更あり）

海外旅行に不慣れな方も安心して参加できるように、本ツアーに添乗員二名がお供し、皆様の旅のお手伝いをいたします。

心づかないものですが、これを機会には是非参加されるよう、ご案内いたします。

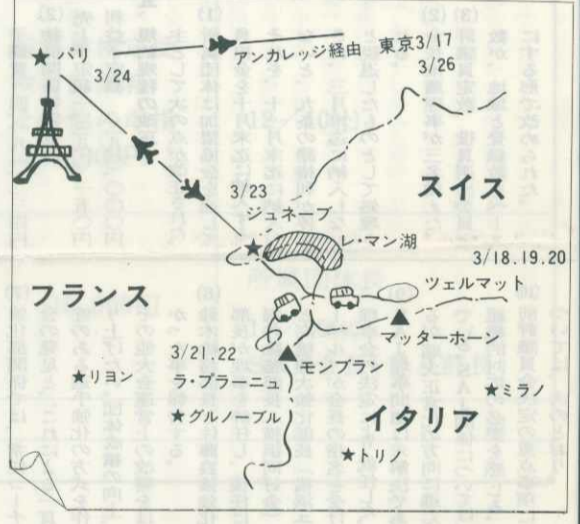
申込み方法は、各クラブ、協会を通じて、県連まで、申込書は協会にお送りしておきます。

参加申込みされた方は、後日、旅券の手続、詳細説明のためのミーティングで更に詳しく旅のお手伝いをいたします。又、会員のローンもありませんのでご利用下さい。（担当理事・佐藤）

健康なスポーツとして、楽しいスポーツとしてのスキーの発展のため、より一層の努力をお願いいたします。

また、所属協会としては、いよいよ自信を得て、クラブ、会員のために、より一層の努力をしようとするものと、ますます発展を共に期待いたします。

今年度、事務所得得に伴い、理事会は第四回、部長会は第二回、各分科会は毎月実施いたします。ご意見等がありましたら、ドシドシお持ち寄り下さい。場所はもちろんです。SAKはじめ、先輩協会のご指導、ご援助を切望する次第です。



各会長さんから

◆名譽会長・黒川秋三さん
本年団体スキーの余技に、オールドボーイ大会があったと聞いて大変良いことだと思つた。北から南迄、往年の日本のそつそつたるメンバが和気相合に、スキーを通じて楽しい一刻を過ぎたと想像します。同時に若い者には勝てないことも認めたいと思つた。

下の力になってあげてほしいと思つた。若い人達も、先輩とのコミュニケーションを保ち、良いスキー連盟に築き上げてほしい。私達は常にアマチュアであることを自覚して、いやしくも連盟を自己のために利用する人は、先輩、後輩をとわず除き、多くのスキーヤーに親しまれ、愛されるスキー連盟であってほしい。

◆横浜協会・柳沢須佐男さん
長い県連のおつきあひの中で、確か一度だけ県連ニュースを戴き楽しく読ませてもらった記憶があります。県連を身近かに感じ、二、三号を期待したが、その後ナシのついでで、残念に思っています。クラブ代表者会議もたれていて、その必要が認められながら、やる気のあるなしで、発行、休刊廃刊されてはならないと思つた。編集にも大変な苦労があるが、継続的に発行されることを希望いたします。

◆足柄協会・細田太郎さん
本年度の執行部テーマに「明るい県連づくり」には、まずコミュニケーションが大切であり、この意味で「SAKだより」が創刊されることは、非常に意義深いことと思われたい。

◆大和協会・尾崎肇一さん
発行にあたり、関係各位の日頃のご苦労にむかひたい。広くスキー愛好者の方々の御理解とお力添えで、更に健全なスキーの発展を共に期待いたします。

◆相模原協会・三塚正二郎さん
会の運営に欠いてはならないものに、会員相互の情報交換と融和機関紙の発行を心からお祝いいたします。

◆川崎協会・土田圭介さん
県連だより、発行おめでとうございませう。小生も長年に亘り、県連執行に微力ながらお手伝いしていただきましたが、今回の県連だより、発行と新事務所開設のホットニュースに、関係者として心よりお祝い申し上げます。

◆平塚協会・小林敏二さん
久しく念願でありました県連事務所の新設を心からお祝い申し上げます。

◆藤沢協会・小林英見さん
「SAKだより」の発行、嬉しく思っています。生みの苦しみを持つて発行された、できることなら、各市協会報をも包含して、県連だよりを読めば、市のこと、市のことすべてがわかる様なものに発展することを切望します。

◆新設の事務所もよろこびの一つです。事務所から離れた協会にもその恩恵が届く様、大いに活用して、有意義なものに育て上げていただくことを願ってやみません。

また、所属協会としては、いよいよ自信を得て、クラブ、会員のために、より一層の努力をしようとするものと、ますます発展を共に期待いたします。

今年度、事務所得得に伴い、理事会は第四回、部長会は第二回、各分科会は毎月実施いたします。ご意見等がありましたら、ドシドシお持ち寄り下さい。場所はもちろんです。SAKはじめ、先輩協会のご指導、ご援助を切望する次第です。

映画会のご案内

スキー映画会が各地で開催されておりますが、SAK公認の映画会をこの紙面を借りてご紹介いたします。

- 新潟県観光課（入場無料）
時 十月二十八日（金）六時
所 横濱市民ホール
入場希望者はSAK事務局迄
- 川崎協会
時 十月十四日（金）六時半
所 産業文化会館
- 小田原協会
時 十月十四日（金）六時
所 小田原市民会館
- 藤沢協会
時 十一月五日（土）四時
所 藤沢市民会館
- 平塚協会
時 十一月十一日（金）六時
所 平塚市民センター
尚 横濱協会では九月十四日に横濱市民ホールで盛大に催されました。

SAK推奨ゲレンデ 交渉みのる!!

今春以来、県連では、戸隠村ならびに現地旅館と数回にわたる交渉の結果、現地にSAK組合を設置し、この組合に加盟した旅館等に神奈川県スキー連盟を通して申込み、宿泊した登録会員ならびにクラブ員には次のような特典が与えられることになりました。

- (一) リフト券（一日券）の割引
- (二) 延泊回数に応じて、県連から購入が出来ます。
- (三) 十名につき一枚の無料一日券が交付されます。
- (四) ボール及びポール練習用ゲレンデが使用できます。（ただし、ポールが破損した場合は実費負担です。）
- (五) 延泊回数に応じて、県連からクラブに交付金が支給されます。

◆県連各種会議のご案内◆

県連では、事務所取得に伴い、理事会、部長会を定例制にしました。理事会は第四回、部長会は第二回、各分科会は毎月実施いたします。ご意見等がありましたら、ドシドシお持ち寄り下さい。場所はもちろんです。SAKはじめ、先輩協会のご指導、ご援助を切望する次第です。

無雪県の指導員の在り方と指導員検定について

全日本スキー連盟 片岡春夫
基礎教育部専門委員

従来から行われて来た検定について、単に検定種目の解説・方法論等については、日本スキー「教範」なり、一般スキー誌等で十分研究でき、理解可能であるので、ここではむしろ「雪なし県」と云う一つの制約条件下におけるスキー指導員の在り方、更には検定に当る検定員として見た実務面を解説してみたい。

「無雪県のスキー指導の在り方」
全日本スキー連盟で標榜していることは、一言で云えば、社会教育の一環として冬期間の健全な社会体育の普及発展につきである。

最近の様に社会環境、あるいは生活環境の乱れた中で、より健康的に、しかも自然の中でのスポーツは、単にそれを行っただけでも意味があるが、特に我々スキー連盟が云う組織を構成する一員、しかもその中の指導を担当する者としての任務は大変重要なものがある。

具体的にはスキーと云うスポーツを通じて大自然の中での味わうことのできる、あの素晴らしい醍醐味を多勢の人々に、しかも「より早く」「より安全に」そして「より楽しめる」ための技を広く分かち合うための指導を心がけることであらう。

雪なし県に生活して、スキーを行う事は経済的にも、肉体的にも可成りの負担のかかる趣味でありスポーツでもある。
この意味に於て、我々のスキー指導は、スキー場の常設のスキー学校の指導とは異なり単に技術の



(SAJ・小沢哲デモ)

ケースとして、具体的に示めずならば、開脚の中はどの位が良いのか、あるいはシテムタンのシテムとして、時間の長短は？等に代表される。開脚の中にしては、開脚が適当、あるいは肩巾位が適当等と良く云われるが、一言にして云えば、自分自身で立った姿勢で最も安定して、楽な状態がとれる程度が良い筈である。

また一般的な事として、実際検定の精神的な問題がある。我々社会生活を営む場合、常に直面する問題として、検定・試験等に於ける心理的影響は無視できないものがある。

「高令者と女性の受験者」
昨年度の検定の際も絶的な講評の中で述べましたが、単的に云うならば、高令者は受験者の中でも所属協会、団体の中で比較的中心的役割を担っている方が多い。

「まとめ」
限られた誌面であり平常考えていたことの全部は表現できませんでしたが、また、生来の愚筆に加えて改めて先輩諸兄のご意見も賜りながら、より良い指導法の模索を、より楽しいスキーを目指しがんばりたいと思います。

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「種目と採点」
検定種目は実技検定で10種目と理論検定の二つに分類され内容的には実技では急斜面に於ける強さと安定した滑り、緩斜面では基本的なスキー操作と姿勢に大別され、採点としては、実技種目では、平均得点が70点以上であり更に実技9種目中6種目が70点以上で、採点70%以上なければ合格とされない。このことは、得意の種目で得点を稼いでも必ずしも合格するとは限らずに平均的に得点する

「検定に対する考え方」
全般的な種目に対する考え方は受験者の個々の考え方によって、可成りの個人差が出て来るが、一般的に云うならば、その種目に対する理解の仕方が重要なポイントと思われる。実際演技する者に於けるその種目を何を求められているのかを十分理解し、それを適切に表現する必要がある。

「高令者と女性の受験者」
昨年度の検定の際も絶的な講評の中で述べましたが、単的に云うならば、高令者は受験者の中でも所属協会、団体の中で比較的中心的役割を担っている方が多い。

「まとめ」
限られた誌面であり平常考えていたことの全部は表現できませんでしたが、また、生来の愚筆に加えて改めて先輩諸兄のご意見も賜りながら、より良い指導法の模索を、より楽しいスキーを目指しがんばりたいと思います。

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

この面からだけ見ても経済的にも会社等に就業している者にとつては大変な負担となり、今後の受験者にとつて、検定の実際もさることながら大変苦しい検定制度になっている。

「高令者と女性の受験者」
昨年度の検定の際も絶的な講評の中で述べましたが、単的に云うならば、高令者は受験者の中でも所属協会、団体の中で比較的中心的役割を担っている方が多い。

「まとめ」
限られた誌面であり平常考えていたことの全部は表現できませんでしたが、また、生来の愚筆に加えて改めて先輩諸兄のご意見も賜りながら、より良い指導法の模索を、より楽しいスキーを目指しがんばりたいと思います。

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

若年者と高令者・女性は肉体的にも大きな差があることから、同一基準での検定は問題があるとの指摘も無視できない現実である。

「高令者と女性の受験者」
昨年度の検定の際も絶的な講評の中で述べましたが、単的に云うならば、高令者は受験者の中でも所属協会、団体の中で比較的中心的役割を担っている方が多い。

「まとめ」
限られた誌面であり平常考えていたことの全部は表現できませんでしたが、また、生来の愚筆に加えて改めて先輩諸兄のご意見も賜りながら、より良い指導法の模索を、より楽しいスキーを目指しがんばりたいと思います。

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

救急員養成講習会を催し、各クラブ・協会に、傷害対策の核となる方の養成に着手しました。来年度以降もより積極的に養成したいと思

協会・クラブに傷付の核をつくるとも勤務の関係や家庭生活の関係で大変なことと推察致します。しかし一度スキーを始められた皆様、あなたのためにコースは整備されています。ポールで制限されたコースをミクロの差で競い合うアルペン競技に、林間コースを鼻水と汗にまみれて一時間有るにわたって争われるクロスカントリー競技に参加してみようではありませんか。スタートのあの緊張感とゴールインした時のあの充実感を会員皆さんで味わってみよう。

「傷害防止対策委員会」
地味な性格の委員会ですが、今年度は事業を二つ増やして、日赤

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

「強化部」
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大

各部からひとこと

◆総務部◆
新事務局が設置され又新専任事務員石黒淑子氏が毎週火曜日と木曜日の二回、一時から七時半迄在局致しますので是非御立寄下さい。場所的にも大変便利ですので今後は会員の方々に對しても何かと便利にご利用願える事と存じます。物品購入、各種申し込み等、気軽にお立ち寄り下さい。

◆普及部◆
協会クラブ代表者会議で詳細な説明は致しませんが、登録の件或は金銭振込の件等に際しましては出来るだけ便利に且つスムーズに出来るよう、種々新しい方法をうちだし会員相互のコミュニケーションをはかる様な方向で準備を進めておりますので、今後多大なご協力とご支援をお願い致します。

◆普及部◆
総務部全員一丸となって会員の方々に不便をおかけしないようつとめさせていただきますので不行き届きの件等お付添いの点はどうぞ遠慮なくお申しつけ下さい。出来るだけご希望に添うよう努力して参りたいと思存じます。

◆普及部◆
スキーは、私達神奈川県でも、また、他の県や多くの国々の国民大衆のスポーツになっています。スキーはスポーツの一つでありこれを行う者はかならずその技術を身につけようとするものです。私共普及部は指導者の育成と強化、スキー技術の調査研究を合言葉に、'78年の各行事に取り組んでまいります。そして六百名にのぼるというSAK登録の基礎スキー指導員の方々は、不特定多数の一般スキーヤーにスキーをよりむだなく、美しく、安全に楽しく、そしてより自由に教えていただくよう望むと同時に、'78年の冬のすばらしい思い出を作ろう御願いたします。

◆強化部◆
雪なしの神奈川県で各種大会を開催するにあたっては、種々の問題を抱えて大変なことであり、大



小沢デモのステップターン

SAKマークデザイン 一般募集のお知らせ!

会員の力で県連マークをつくらう

県連では事務所開設を契機に、当県連のマークを制定することにしました。

既に皆様ご存知のように、全日本スキー連盟では日の丸をアレンジしたマークを持っており、他の都道府県連でも、それぞれのマークを持っていて、県連が少なくありません。

登録全国第三位を誇る当県連に、独特のマークがあつて不思議ではありません。会員の皆様の手で、永く愛用されるマークをデザインしていただきたいと思います。

マークは、連盟旗・バッジ・表

応募要領は、B5判の用紙に15センチ四方(又は直径)の図案を描いて下さい。着色は自由ですが、マークの活用方法から一色となる可能性が高い事をお含み下さい。締切りは本年十二月二十日までに県連あて送付されたものとします。

審査は、県連執行部ならびに各協会の代表者、その他の方々と行い、採用図案・佳作図案には薄謝を差上げます。(担当理事・佐藤までお送り下さい。)

祝 神奈川県スキー連盟事務所開設

準備はいかが...。

初雪の便りもちらほら、貴方のスキーライフに少しでも役立てば... 私たちの願いです。

スポーツウズ **ア**

☎045(314)1881代

〒220 横浜西区南幸2-14-16 (横浜駅西口ダイエー前)

祝 事務所開設 SAKだより創刊

旅する心で 旅行を創る

池 **日本交通公社** **小賀坂** **スキー製作所**

関連行事日程一覽

行事名	担当部	日程	会場	参加料	申込期限
基礎スキー理論講習会 (第1回) (第2回・救急法) (第3回)	普及部	10/9(月) 13:00~ 11/3(木) 10:00~ 11/6(日) 13:00~	開港記念会館 同上 同上	700円 1,000円 700円	当日受付 同上 同上
日赤救急員養成講習会	総務部	10/16(日)~10/23(日)	日赤・神奈川支社	3,000円	10/8
準指導員検定(理論) (実技)	普及部	11/27(日) 13:00~ 2/17(金)~2/19(日)	藤沢労働会館 戸隠高原	5,000円 上記に含む	11/10(木)
指導員研修会(理論) (実技)	普及部	11/20(日) 12/24(土)~12/25(日)	横浜市立菊名小学校 戸隠高原	ナシ	11/20(日)
技術講習会・アルペン "ノルディック"	強化部	12/15(木)~12/18(日) 12/29(木)~1/4(火)	野沢温泉 飯山	(A) 15,000円 (B) 18,000円 (A) 25,000円 (B) 28,000円	A: 11/15 B: 11/30
公認パトロール検定(A) (B) (B)	総務部	11/13(日)~11/16(水) 2/24(金)~2/27(月) 4/1(土)~4/4(火)	草津 妙高パノラマ 田沢湖		未定
国体・全日本予選会 南関東ブロック予選会	強化部 強化部	1/18(水)~1/22(日) 1/21(土)~1/22(日)	戸隠 上野原	4,000円 2,000円	11/24(木) 11/24(木)
公認パトロール研修会	総務部	12/24(土)~12/26(月)	妙高パノラマ		
上級者強化合宿 有資格者強化合宿	普及部	1/27(金)~1/29(日) 同上	戸隠 同上	5,000円 2,500円	12/20(木) 12/20(木)
S K K デテ選考会	普及部	1/29(日)~1/30(月)	戸隠	1,500円	12/20(火)
S A K デモ強化合宿	普及部	2/19(日)~2/20(月)	戸隠		
国民体育大会 国民体育大会	強化部 強化部	2/17(金)~2/18(土) 2/19(日)~2/22(水)	野沢温泉 野沢温泉		
県総体スキー競技会	強化部	2/25(土)~2/26(日)	戸隠		
県選手権大会	強化部	3/9(木)~3/12(日)	戸隠	(ア) 4,000円 (イ) 2,500円	2/2(木)
スキー大学・養成講習 (第1会場) (2) (3) (4) (5)	普及部	1/8(水)~1/22(日) 2/3(金)~2/7(火) 2/3(金)~2/7(火) 2/3(金)~2/7(火) 2/3(金)~2/7(火)	北海道大和ルスツ 山形蔵王 岩岳 朴木平 大山	指導員検定受 検者は無料 その他の準指 は10,000円	12/10(土)
指導員検定会(第1) (第2) (第3) (第4) (第5)	普及部	3/2(木)~3/5(日) 2/23(木)~2/26(日) 2/28(火)~3/3(金) 2/26(日)~3/1(木) 2/23(木)~2/26(日)	小樽 山形蔵王 岩岳 朴木平 大山	10,000円	11/20(日) 所属団体長 11/30(水) SAK会長(普及部長)
全日本選手権大会	強化部	未定			
旗門審判員検定会	強化部	未定			

(注) 申込期間はSAK事務局到着期限で、各所属団体への提出日ではありません。

執行部担務紹介

SAKの執行部担務をご紹介します。問い合わせや意見がありましたら、各担当にどうぞ。

◇会長 長 河野洋平

◇副会長 園山和男(担当総務)

◇副会長 松浦益次郎(同普及)

◇副会長 三塚正二郎(同強化)

◇理事長 笹野敏男(執行全般)

◇副理事長 片岡春夫(執行全般)

及びSAJ・専門委員

◇総務部

◇細井健吾(部長・事務局長)

◇齊藤正三(組織運営・会議運営)

◇佐藤嘉彦(傷付・登録・事業及び広報)

◇鷹野豊二(会計)

◇普及部

◇高橋貞夫(部長・総括・指導員検定手続・パッチテスト手続関係)

◇柴田伸彦(デモに関する事項・理論講習・準指検定関係)

◇小見 勝(研修会・合宿関係)

◇強化部

◇高橋伸次(部長・総括)

◇藤田勝利(アルペン担当)

◇小林幹夫(クロスカントリー担当)

◇小川浩史(クロスカントリー担当)

◇県連各種委員

◇傷付関係(傷付委員)

◇芦川市朗(福沢洋治)

◇小島祐嘉(石川 弘)

◇赤城武彦(伊沢 尚)

◇普及部関係

◇専門委員

◇須田恒男(ブロック委員)

◇山田隆

◇高橋克昭(鈴木隆士)

◇小沢哲(岩崎悦征)

◇強化部関係(強化コーチ)

◇佐々木俊(笹川進)

◇吉岡幹雄(佐藤茂暢)

◇嵐妻

◇工藤政藏

スカイ・アンド・スノー

国内スキーツアーもSAKで!

今年、SAKができて以来、始めて海外ツアーを行うのですが海外だけでなく、国内での大きなツアーも、割引が実施いたします。国内ツアーは、今年は北海道の六コースを指定して実施します。いずれも飛行機を使つてのツアーでは定評のある、日通航空とのタイアップで、北海道でのスキーを皆様にご紹介するものです。

日程・コースは……

二泊三日・札幌デラックスコース
A一月十六日出発・B一月二十一日出発・C二月四日出発・D二月十七日出発・E三月三日出発・F三月十日出発

四泊五日超デラックスコースはG二月九日出発・H三月十七日出発の二コースです。

二泊三日コースは札幌市内の最高級ホテルに泊つて、スキーはあ

有資格者の方々へ

SAKに在籍する有資格者の方々は、既に六〇名を越えており事務局での管理も年々複雑になってきております。特に近年、無届で移籍する人が多く、所属クラブがいずれなのか、実態が掴めなくなっております。

そのため、本年度から管理方式を改めることに致しました。

新方式初年度の今年、各クラブに在籍者調査をお願いしております。その在籍者調査で報告のあった方のみをSAKに在籍有資格者とする事にしました。

協賛会社募集のお願い

近年、県連財政は圧迫の一途をたどっておりまして、少しでも県連財政の支えになるようにと、今年度より協賛会社を募ることにいたしました。既に各協会にてお願いをしておりますが、皆様の手で一社でも多くの協賛社を増やして下さい。

ちなみに各協賛会社へお願いしている文章の抜粋をご紹介します……

当県連は、長年の念願でございまして事務所を開設し、各種行事も近年にたく充実させるべく全役員一丸となって、努力をしております。ご協力をお願いいたします。

協賛料は
特別協賛 50,000円年間
一般協賛 20,000円年間
会員各皆様の手でご紹介をお願い申し上げます。

編纂後記：いかにせん、始めての作業で、あまり締りのない結果のSAKだよりになってしまいました。協会長さんに一言つつお願いした所、逆に大きな期待が寄せられて日を追うごとに荷が重くなつてしまいました。

写真や、マンガをもつと載せたかったのですが、準備が悪く文字

SAKの執行部担務をご紹介します。問い合わせや意見がありましたら、各担当にどうぞ。

◇会長 長 河野洋平

◇副会長 園山和男(担当総務)

◇副会長 松浦益次郎(同普及)

◇副会長 三塚正二郎(同強化)

◇理事長 笹野敏男(執行全般)

◇副理事長 片岡春夫(執行全般)

及びSAJ・専門委員

◇総務部

◇細井健吾(部長・事務局長)

◇齊藤正三(組織運営・会議運営)

◇佐藤嘉彦(傷付・登録・事業及び広報)

◇鷹野豊二(会計)

◇普及部

◇高橋貞夫(部長・総括・指導員検定手続・パッチテスト手続関係)

◇柴田伸彦(デモに関する事項・理論講習・準指検定関係)